

## 2020年 第1回 脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：2020年2月19日（水）19：00～20：00

場 所：東京医科大学新教育研究棟 10F 1001 室

参加者：遠藤 健司（JSSR 委員長）、平泉 裕、高野裕一、鈴木秀和、山縣正庸、新井嘉容、井上 玄、宮城正行、八木 満、渡辺航太、平井高志、山田浩司、谷口優樹

欠席者：大川 淳（担当理事）、青田 洋一（側弯症学会委員長）、武者芳朗、藤田順之、吉井俊貴、酒井大輔、種市 洋、

### 議事

#### 1) 2022年要望項目案の決定、担当の決定

##### 新規

1. 終系切離術（遠藤）（外保連試案も作成）
2. 自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術（酒井）（外保連試案はあり）
3. 立位全身骨撮影（EOS）（宮城）：継続要望
4. 立位全身骨撮影（術前精密）（EOS）（宮城）：継続要望

##### 改正

1. 顕微鏡加算（新井）
2. 上位頸椎加算（渡辺）
3. K931 超音波凝固切開装置等加算の適応拡大（リガシユア、ハーモニックなど）（武者）
4. 患者適合型手術支援ガイド加算（遠藤）：継続要望
5. 内視鏡下椎弓形成術複数椎間加算（高野）：継続要望
6. 通則14の追加（内視鏡）（高野）：継続要望

##### その他

- ・放射線被爆加算は外保連全体の議題としていただく（平泉）
- ・BKPの後壁骨折、早期適応拡大、多椎間加算：新規技術委員会にて適応拡大検討依頼（平井、吉井）
- ・エアトームバーなどシングルユースのもの リユースとの併用（ハイランドリル）を薦める：脊椎脊髄病学会でポスター掲示（宮城）

その他詳細は添付資料参照

2) 外保連試案を部位別に作成するもの：11月までに5施設50症例

- ・椎弓切除(頸椎、胸椎、腰椎)椎間数不明(平井)
- ・椎弓形成術(頸椎、胸椎(頸椎から引用)、腰椎)椎間数不明(八木)
- ・内視鏡椎弓切除、椎弓形成(頸椎、胸椎、腰椎)(谷口)

3) 試案作成の仕方の説明

1. 担当5施設を決める(遠藤に報告)
2. 試案を読みながらエクセルにまず自分で入力、他の4施設の担当にデータのないエクセルを渡す(遠藤に報告)
3. 8月末までにデータを回収する(遠藤に報告)
4. 9月末までにまとめる、
5. 10月のはじめに手術委員に結果を渡す。

4) JSSR ポスター発表内容 (鈴木、宮城)

- ・2020年診療報酬改定要望項目結果、全審会報告について(鈴木)
- ・2022年要望項目について、評議員アンケート結果について(宮城)

5) 今後の予定、次回開催

**次回開催** 10/21(水)12F 1202室(小会議室)

**主要議題**：手術試案(新規、改正)の提出